

各 位

2025年2月3日

会社名 グローバルセキュリティエキスパート株式会社
代表者名 代表取締役社長 青柳 史郎
(コード番号: 4417 東証グロース)
問合せ先 代表取締役副社長 原 伸一

2025年3月期 第3四半期決算に関する質疑応答集

2025年1月30日に公表しました、当社2025年3月期 第3四半期決算に関して、多くの投資家様よりご質問をいただきましたので、以下のとおり回答申し上げます。

- Q1. 売上高は通期88億円を計画されていますが、第3四半期累計が63億円（通期進捗率71.5%）でしたので、残り25億円を達成する必要があります。前期の第4四半期の売上高は19.7億円でしたので、高い水準と見えます。見解を教えてください。**

当社の業績は、第1四半期が低く、第2四半期から第4四半期にかけて増えていくのが例年の傾向です。当第3四半期の進捗率につきましても会社計画どおりであり、順調に推移しているものと考えております。

- Q2. 下期の営業利益計画が8.75億円に対して第3四半期が4.58億円でしたので、第4四半期で約4.2億円を達成する必要があります。4.2億円という水準は前期の第4四半期の2.57億円に対しても63%増と水準が高く、ハードルが高く見えます。見解を教えてください。**

会社計画どおりの進捗だと認識しております。

当社は、例年、第4四半期において、従業員に対する決算賞与の支給や、翌期の施策に向けたマーケティング投資を実施しております。これは公表している通期計画を上振れる見込みがたったときに、当社取締役会等の決定をうけて実施しております。

当期につきましても、公表している通期計画を上振れる場合にのみ実施することとしております。

例年、当社の売上高は第3四半期会計期間よりも第4四半期会計期間の方が大きくなり、当期につきましても同様に推移すると予想しております。また、売上総利益率は当第3四半期累計と同水準で推移しております。

- Q3. あわせて、経常利益についての見解を教えてください。**

上記のとおり、第3四半期累計の営業利益は順調に推移していると認識しております。

一方、持分法投資損失については、第3四半期累計で約5,000万円ありますが、第4四半期では黒字に転じ、通期業績では投資損失幅は大幅に縮小する見通しのため、連結業績予想が下振れする要因とならない見込みです。

以上